

スタディルーム・グループ研究室の 受付・予約の仕方

カウンターで朝8時30分から受け付けています。

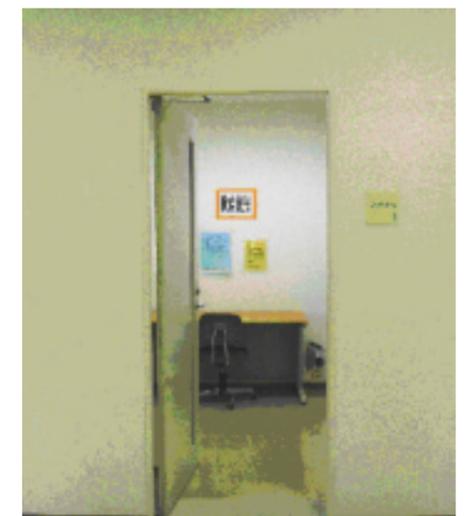
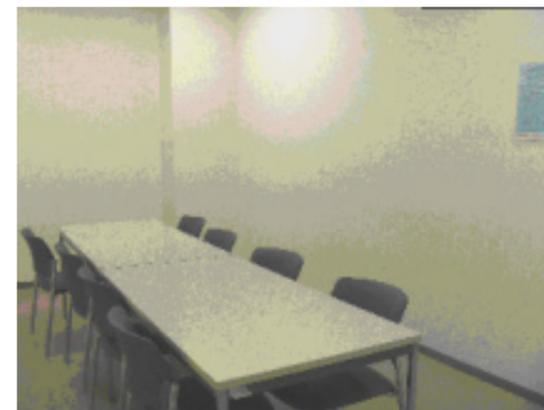
- ・カウンターで学籍番号・名前を申込用紙に記入してもらいます。(グループ研究室の場合は、2人分記入してもらいます。)記入したらスタディルーム・グループ研究室の鍵を渡します。
- ・予約をする場合は、予約をしたい時間が空いているかをカウンターにいる職員に確認してください。予約確認の用紙をわたします。予約時間になったら予約確認の用紙を持ってカウンターまで来てください。予約確認の用紙と引き換えに鍵を渡します。
- ・延長する場合は、必ずカウンターに申し出てください。
- ・カウンターにスタディルームとグループ研究室の利用状況が分かるボードがあります。それで利用状況・予約状況を確認できます。

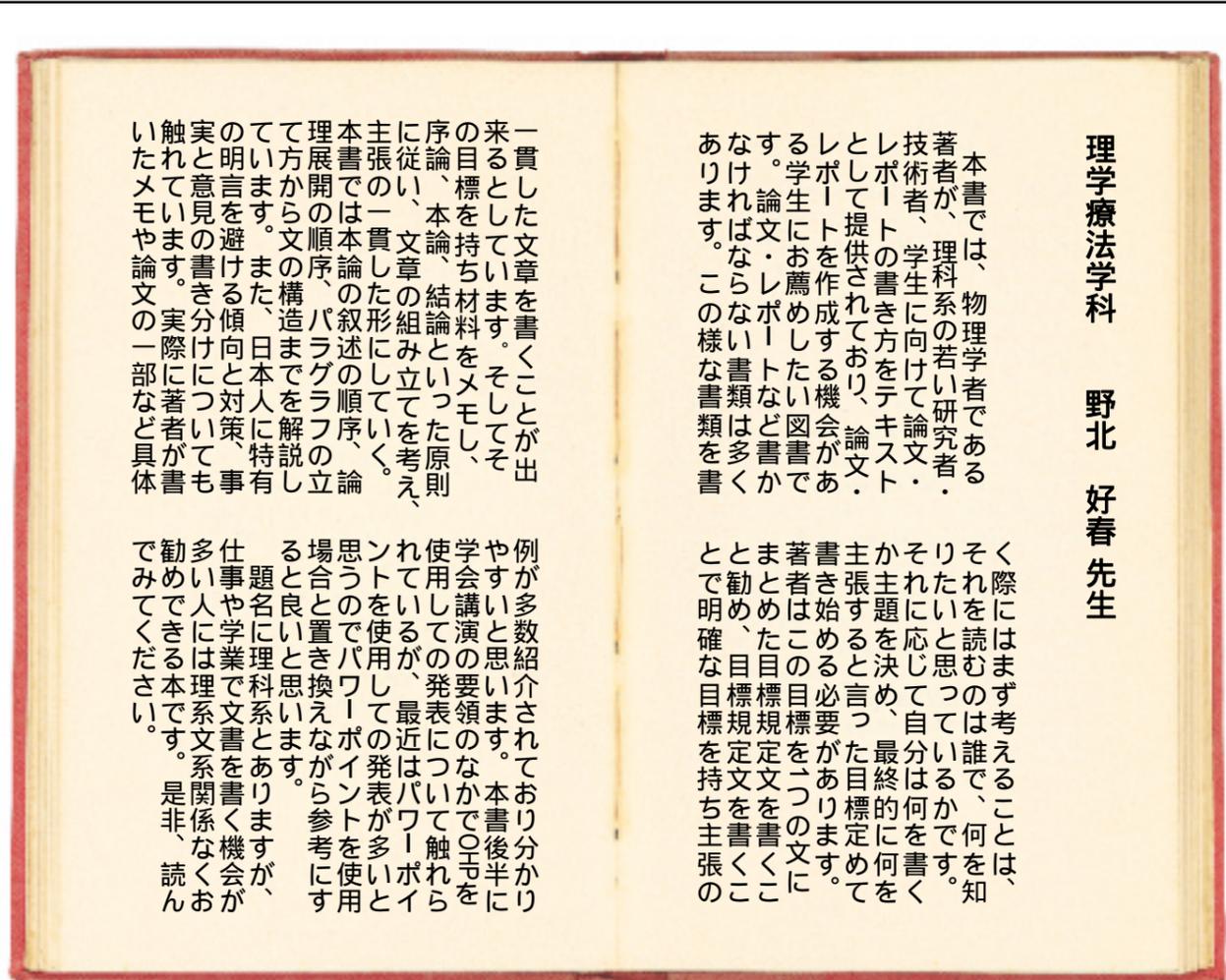
スタディルーム・グループ研究室
の利用状況ボード



スタディルーム・グループ研究室の 利用注意

- ・飲食は禁止です。絶対に止めてください。
- ・使用時間は1回につき2時間までです。ただし、次に待つ人がいない場合に限って、使用時間を延長することができます。その場合はカウンターに申し出てください。
- ・一時退室をする場合は、部屋の鍵を一度カウンターにあずけてください。(鍵に磁気がついているので持ち出しはできません。)一時退室は、30分以内でお願いします。30分以上を過ぎるとキャンセル扱いとなります。そのときは荷物などは撤去します。
- ・部屋のドアは閉めて利用して下さい。
- ・防音設備はついていません。必要以上に大きな声・物音を立てないでください。
- ・退室の際は部屋の鍵を掛けてください。
- ・当日のみ予約ができます。8時30分から受け付けていますので、カウンターに申し込みしてください。
- ・禁則行為が見受けられた場合は以後の利用を断る場合があります。





理学療法学科 野北 好春 先生

一貫した文章を書くことが出来るように書いています。そしてその目標を持ち材料をメモし、序論、本論、結論といった原則に従い、文章の組み立てを考え、主張の一貫した形にしていける。本書では本論の叙述の順序、論理展開の順序、パラグラフの立て方から文の構造までを解説しています。また、日本人に特有の明言を避ける傾向と対策、事実と意見の書き分けについても触れています。実際に著者が書いたメモや論文の一部など具体的に

本書では、物理学者である著者が、理科系の若い研究者、技術者、学生に向けて論文・レポートの書き方をテキストとして提供されており、論文・レポートを作成する機会がある学生にお薦めしたい図書です。論文・レポートなど書く必要があればならない書類は多くあります。この様な書類を書く

例が多数紹介されており分かりやすいと思います。本書後半に学会講演の要領のなかで〇〇を使用しての発表について触れられているが、最近ではパワーポイントを使用しての発表が多いと思うのでパワーポイントを使用する場合と置き換えながら参考にすると良いと思います。題名に理科系とありますが、仕事や学業で文書を書く機会が多い人には理系文系関係なくお勧めできる本です。是非、読んでみてください。

く際にはまず考えることは、それを読むのは誰で、何を知らなければならないかです。それに応じて自分は何を書くか主題を決め、最終的に何を主張するとしようかと目標を定め、書き始める必要があります。著者はこの目標を二つの文にまとめ、目標規定文を書くことと、明確な目標を持ち主張の



本を読む

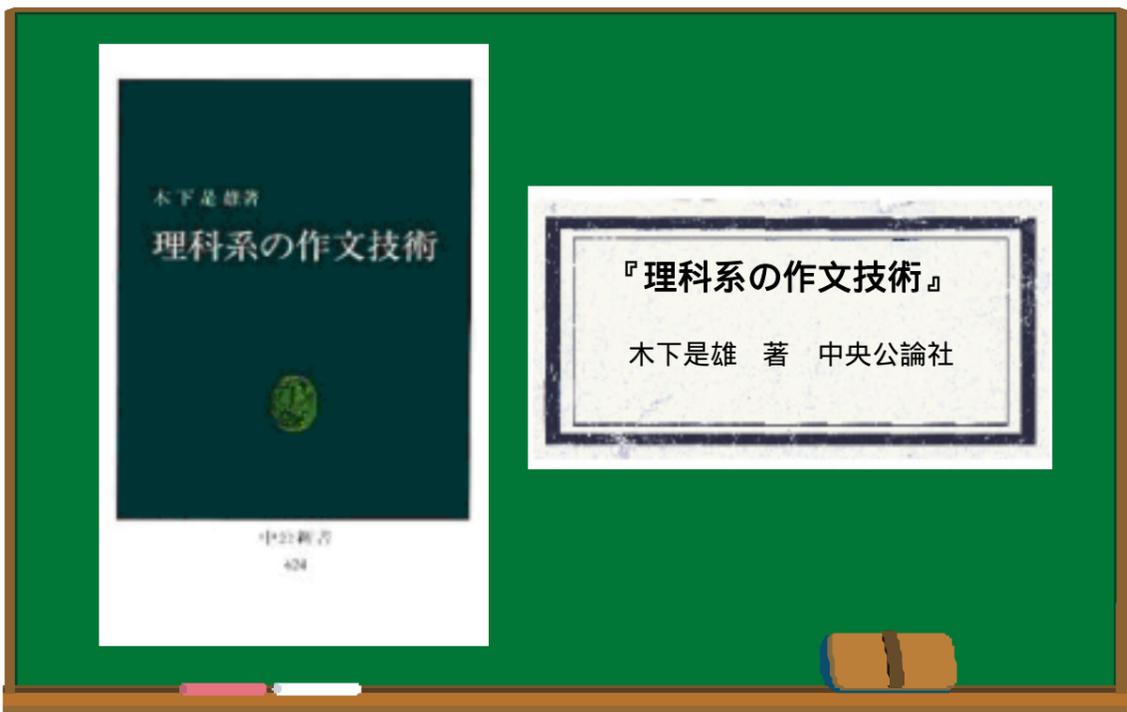
整復医療・トレーナー学科 石丸圭荘 先生

肩こりの治療などで一般家庭にも広く普及している低周波治療について、専門的にわかりやすくまとめられている医学書を紹介します。本書は今年6月に発刊されたばかりの新刊書で、低周波を生体に対して皮膚面より経皮的に通電刺激する経皮的神経電気刺激 (transcutaneous electrical nerve stimulation : TENS) 療法について基礎と臨床の両面から解説しています。

このTENS療法の機序は、痛みの受容器や伝導路を刺激することで、脊髄後角での痛み伝達を抑制するゲートコントロール理論やモルヒネ様物質などを分泌させる下行性疼痛抑制などの作用が働きます。

この作用により、痛みを伴う整形疾患やターミナルケアなど幅広く活用されています。これから健康科学部の学生諸君は臨床実習などでTENS療法を実践することがあるでしょう。その時には、家庭で低周波治療をおこなうより効果を求められ、なぜ電気刺激が痛みを効くのか？患者さんから問われることもあるでしょう！この疑問に答えてくれる医学書であると思います。

『臨床現場における経皮的神経電気刺激療法 TENSによる40疾患への応用』 中山登稔・林知也 著 (医歯薬出版)



看護学科 佐藤みつ子 先生

現サッカー - 選手の2冊の本をお勧めしたい。長友、長谷部の両選手とも世界で活躍中の一流の選手なのでご存知かと思う。これらの本を読んだきっかけは、今の若者の考えを知りたいと思ったからである。もうひとつは、サッカー - の試合をみていると、長友、長谷部選手とも、試合の流れをうまくつかみタイミングよく動いている。両選手が、どうしてこのような判断力、そして体力、強靱な精神を身につけたのか、興味を抱いたからである。

長友選手の著書では、「努力は裏切らない」「努力すれば必ず成長できる」「挑戦のためには準備が必要。一足飛びで夢や目標に達成できない。階段を登るように目標に近づくことでそれぞれ実現できるのだ」「努力する才能とは努力することをためらわない勇気でもある」「自分に足りないものはないか、今、何をなすべきか、何ができるかを考え、目標にしがみついていくしかない」「挑戦することで新しい可能性が広がる」「なりたい自分をいつも意識している」等、サッカーのプロとしてプレ - に取り組む姿勢や、自己の判断力、技術力をチェックし弱点を改善、自己を律する、努力することによって心が磨かれること、夢をあきらめないことの大切さを述べている。一方、長谷部選手の著書は、自分らしさを飾らずありのまま淡淡々と綴っている。「心のメンテナンス」「心を整理する」等、意識して自分の時間を作り、自分を見つめる時間を大切にしている。また「組織力」と「自分の力」のバランスをどう調整するか迷いつつ、主将として組織をまとめ、チ - ムワ - クの大切さを感じさせる。大きな目標を持って努力することや組織力、チ - ムワ - クの重要性は、専門職としての医療職者にも通じるところがある。本当の専門職であるプロフェッショナルは、常に努力し、自己を見つめ、今、この時の課題に前向きに取り組むことが求められている。

二冊とも、皆さんと同じ年代からのメッセ - ジとして、どのように考えたら良いか、生き方への示唆が得られると思われる。

『日本男児』
長友佑都 著 (ポプラ社)



『心を整える』
長谷部誠 著 (幻冬舎)



教養教育センター 橋本和幸 先生

本書は「もしドラ」の略称で知られる、一昨年12月の発売以来記録的な売れ行きで、今年4月には200万部を突破したベストセラーです。

「それだけ売れる = 多くの人の心をつかむ」には何か読みたくなる理由があり、読む人に何か役に立つことがあるのではないかと考えて紹介することにしました。

本書は小説という形式で、「経営学の父」と言われるドラッカーが書いた『マネジメント』という企業経営や組織管理の本のエッセンスを紹介するという内容です。

経営学といとなんだか難しく、自分の専門には全く関係のない話のような気がするかもしれませんが、しかし、他分野の内容を自分の勉強や勉強に置き換えて読むことで、参考になることはたくさんあります。

その点で、本書は経営学という起業家や経営者以外にはあまりなじみのない分野を、弱小野球部が甲子園を目指すという青春小説に置き換えながらドラッカーが言いたいことを紹介しているので読みやすいと思います。

あらすじを紹介すると、ある理由で野球部のマネージャーになった女子高生川島みなみが、マネージャーとは何か知るために訪れた書店で勧められた、「世界で一番読まれているマネージャーについての本」である『マネジメント』を購入するところから物語が始まります。

ところが、この本は経営学について書かれたもので、高校野球のマネージャーのことなどどこにもありません。がっかりしたみなみでしたが、せっかく買ったのだからと読むだけは読んでみると、この本には野球部という組織に応用できる内容がたくさん載っていることに気づきます。

こうして、自らドラッカーが言うマネージャーとして野球部をマネジメントしようと心に決めて、友人や後輩マネージャー、監督、ドラッカーを知る選手たちに協力してもらい、野球部という組織の運営を変えて、甲子園出場を目指して奮闘するという物語です。

人は、生きていく上で必ず何らかの組織に属しています。皆さんならば、学校、学科、グ

ループワークの班、サークル、アルバイト先、友だちグループ、家族などです。その組織を自分と皆にとってより良いものにしていくヒントが『マネジメント』にはありますが、本書でその雰囲気に触れるだけでも勉強になると思います。

このように売れている本を手にとるといふ何気ない理由から、皆さんが少しでも本の世界に興味を持ってくれたらうれしく思います。

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」
岩崎夏海 著 ダイヤモンド社



夏休み開館日のお知らせ

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
	1 8:30-20:20	2 8:30-18:20	3 8:30-18:20	4 8:30-18:20	5 8:30-18:20	6 9:00-16:50
7 休館	8 9:00-17:20	9 9:00-17:20	10 休館	11 9:00-17:20	12 9:00-17:20	13 休館
14 休館	15 9:00-17:20	16 9:00-17:20	17 9:00-17:20	18 9:00-17:20	19 9:00-17:20	20 9:00-16:50
21 休館	22 8:30-18:20	23 8:30-18:20	24 8:30-18:20	25 8:30-18:20	26 8:30-18:20	27 休館
28 休館	29 8:30-18:20	30 8:30-18:20	31 8:30-18:20			

図書館のルール

開館時間

月曜日～金曜日 8:30～20:20
土曜日 9:00～16:50

休館日

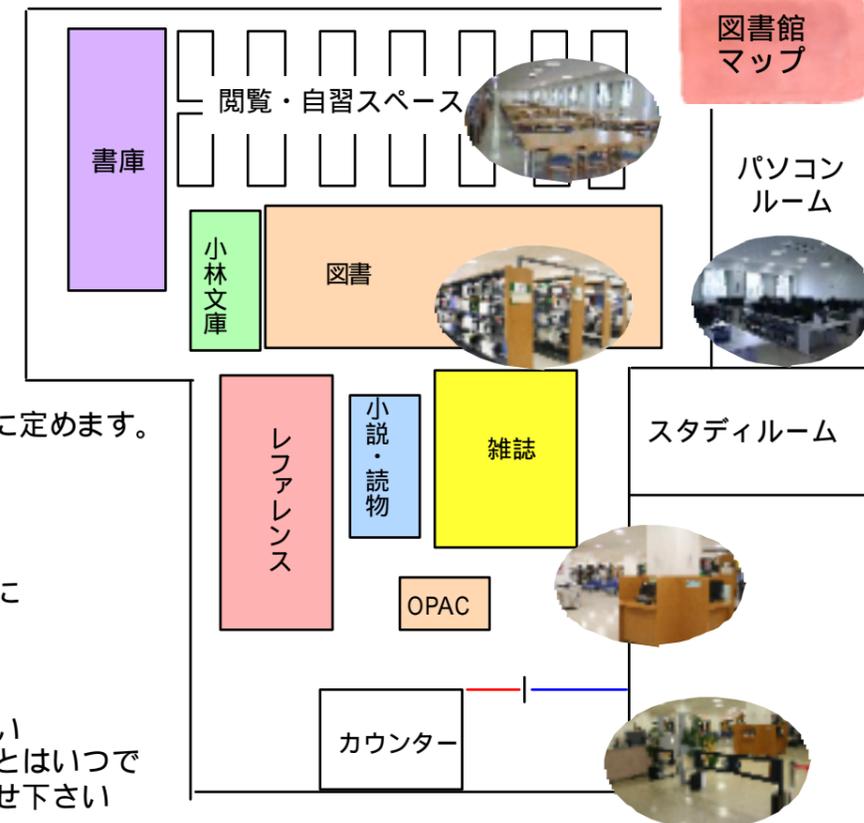
日曜日、祝日、大学休校日
館内整理日、年末年始

但し、夏季休業等の期間は別に定めます。

図書館のご利用

- ・図書館の資料や施設は大切に
- ・私語は慎みましょう
- ・飲食は全面禁止です

ルールを守ってご利用下さい
調べたいことや気になることはいつでもカウンターまでお問い合わせ下さい



図書館
マップ